

学校働き方改革に係る ロードマップ

「業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づく
具体的工程（R8～R12）

目標に係るロードマップ

1 時間外在校等時間目標

	R8	R9	R10	R11	R12
80時間以上の割合を0%	1%	0.5%	0%	0%	0%
1箇月平均27時間程度	31時間	30時間	29時間	28時間	27時間
年間平均360時間以内	384時間	378時間	372時間	366時間	360時間

2 ワーク・ライフ・バランス、働きがい目標

	R8	R9	R10	R11	R12
高ストレス者を5%以下	9%	8%	7%	6%	5%
健康リスク値70以下	78	76	74	72	70
働きがい値3.5以上	3.3	3.35	3.4	3.45	3.5

(1) 「業務の3分類」に係る業務の見直し

イ 学校以外が担うべき業務

教育委員会の取組

学校の取組

	R8	R9	R10	R11	R12
登下校の見守り活動100%	90%	95%	100%	100%	100%
放課後・夜間の見回りを原則 学校は行わない	学校への 周知	原則、見回りを行わない			
児童生徒の補導時の対応	保護者への 周知	保護者が対応する			
地域学校協働活動の関係者間の 連絡調整等を地域学校協働 活動推進員等が中心に行い、 職員間の適切な分担を行う	学校への 周知	地域学校協働活動推進員等が中心に行い、適切に役割分担を行う			
保護者等からの過剰な苦情や 不当な要求等への対応	学校への 周知	教育委員会と情報共有し、必要に応じて弁護士等の制度を活用して対応する			

(1) 「業務の3分類」に係る業務の見直し

□ 教師以外が積極的に参画すべき業務

教育委員会の取組

学校の取組

	R8	R9	R10	R11	R12
調査・統計等への回答	学校業務支援システムアンケート機能やクラウドを用いた回答等による負担軽減				
	教員の専門性に深くかかわるものを除き、事務職員等が中心となって回答				
民間スイミングスクールを活用した学校水泳授業	モデル校での実施による成果と課題を整理し、実施校の拡大等を検討				
	モデル校で実施、拡大された実施校で実施				
平日を含めた部活動の在り方協議	休日の部活動の地域展開支援				
	休日の地域展開先行実施	休日の地域展開完全実施			
	平日の部活動の在り方（活動日数・時間、平日の地域展開等）の検討				
	平日の部活動の在り方の検討・実施				

(1) 「業務の3分類」に係る業務の見直し

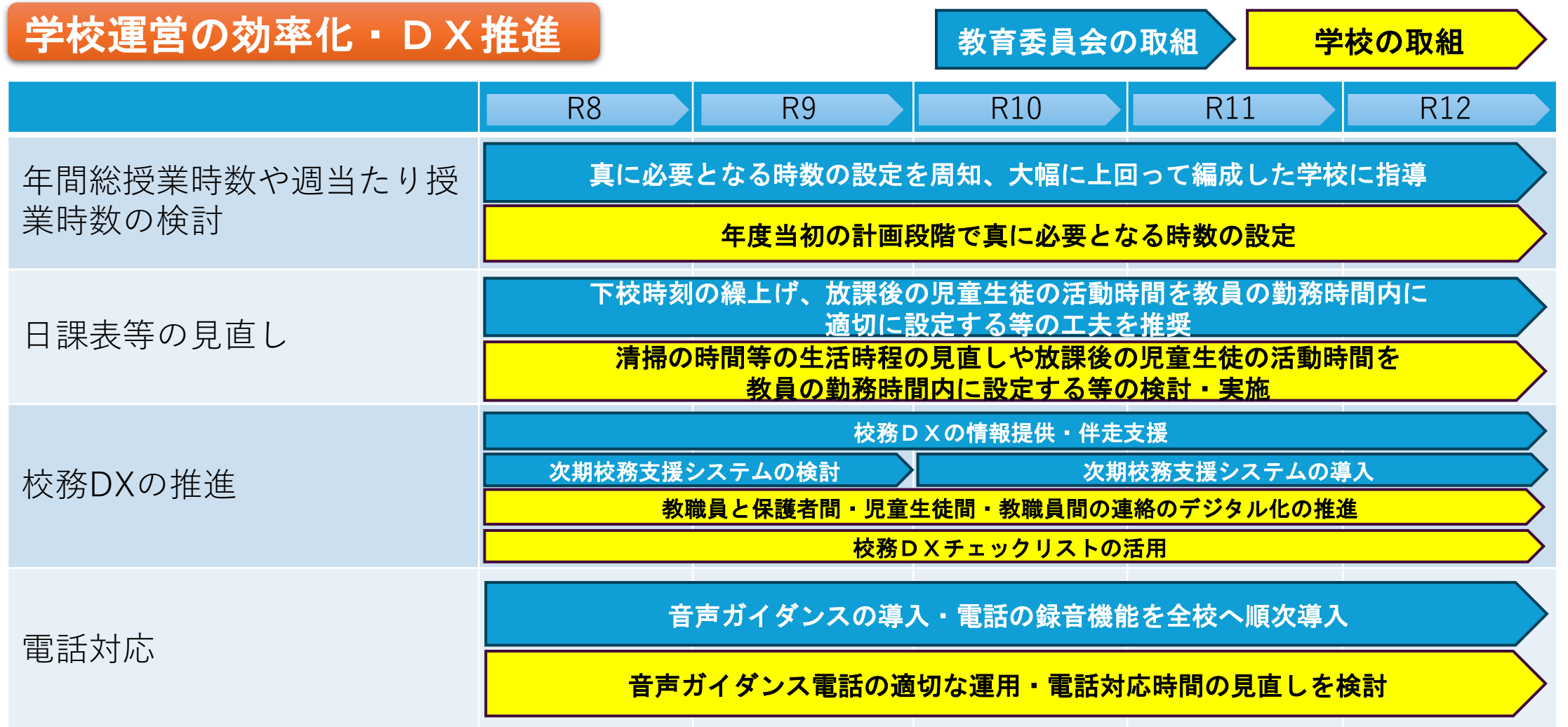
ハ 教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務

教育委員会の取組

学校の取組

	R8	R9	R10	R11	R12
授業準備等	<p>教員業務支援員等の配置の継続・拡充の検討</p> <p>教員業務支援員等の積極活用</p> <p>資料のクラウド共有推進</p>				
小学校教科担任制等の導入	<p>教科担任制・交換授業導入を推進 (R12年度までに100%実施)</p> <p>教科担任制・交換授業を導入</p> <p>チーム担任制導入校の情報共有・支援</p> <p>チーム担任制の導入 (実態に応じて)</p>				
中学校・義務教育学校後期課程へのデジタル採点システムの導入	<p>デジタル採点システムの導入・活用の促進 (中学校・義務教育学校後期課程)</p> <p>(活用校) デジタル採点システム活用による事務負担の軽減</p> <p>(未活用校) 検討・適宜導入</p> <p>(未活用校) 完全導入による事務負担の軽減</p>				
支援が必要な児童生徒・家庭への対応	<p>関係機関との連携に係る研修 (年1回実施)</p> <p>関係機関との連携・協働体制の構築</p> <p>学習活動の充実に向けたツールの作成・研修の実施</p> <p>ツールの活用・校内支援体制の構築</p>				

(2) 学校における措置の推進



(3) 健康及び福祉の確保に関する取組

